

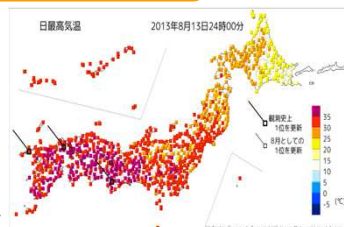
□ トピック □ 気温が高い時期の殺虫効果

今年は、千年猛暑であると言われ、9月は暦の上では秋ですが、まだまだ暑い日々が続いています。気温の高い日は、こまめに水分補給をし、熱中症にならないように体調には気を付けてください。

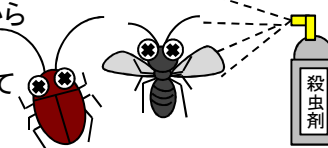
さて、みなさんは気温が高い時期に殺虫剤の効き目が良いことをご存知でしょうか？一般的に昆虫類は、気温の高い時期は代謝が高く、様々な殺虫剤を用いて対策を行う場合には、殺虫剤の効果も高まるとされています。殺虫剤の昆虫類への効力としては、神経伝達を阻害するもの、生合成系を阻害するもの、エネルギー代謝を阻害するものなどがあります。

逆に、9月を過ぎると気温や湿度が低くなり、昆虫類は活発な活動を行わなくなることから代謝が低下し、その結果、殺虫剤が効きにくくなります。

気温が高い時期に、殺虫剤による防虫対策を行うことは、コストパフォーマンスに優れています。この時期を逃さず、防虫対策を行っていきましょう。



観測史上最高気温更新
(気象庁HP参照)



□ お知らせ □ リン化水素ガス燻蒸

倉庫やサイロなどに生息する内部発生虫(主な貯穀害虫)やネズミを対象に、夏から秋にかけての気温の高い時期に行う防除法として、リン化水素ガス燻蒸があります。

この燻蒸に使用する、リン化アルミニウム製剤は、空気中の水分と反応することで徐々に分解されていき、殺虫成分であるリン化水素を発生します。

リン化水素ガスの長所としては、拡散性が非常に高いため密閉した空間では直ちに空気と混合し、あらゆる方向に広がり、穀物内に浸透します。その結果、その現場内に生息しているすべてのステージ(卵、幼虫、蛹、成虫)に有効な殺虫効果があります。また、穀物への吸着・残留がないことから、大規模の種子消毒にも利用され、農作物の燻蒸にも適しています。

一方、短所としては、金属への腐食があり、配電盤内や電子部品の近くで使用しづらいこと、農薬であるため海産物などへの使用ができないことなどがあります。

トピックにもありますように、この時期のガス燻蒸が年間通じて一番薬剤の効果を出すことができますので、ご興味があればお早めにご相談ください。



(食品総合研究所HP参照)

パンメダダラメイガ

貯穀害虫の大害虫として食品異物の代表。このような虫が、燻蒸対象です。

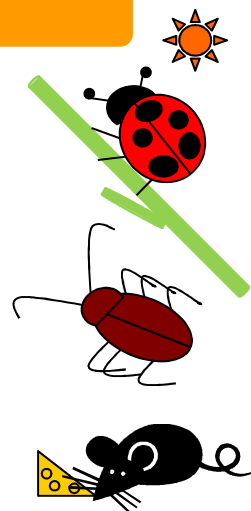
□ 豆知識 □ 名前の由来

生活をしているとふと見かけたり、何気なく知っている動物や昆虫類の名前。その名前の由来をご存じですか？

例えば、屋外を飛んでいたり、植物にとまっている“テントウムシ”。この虫は、小枝などの細い棒状のものにつかまると上へ登っていく習性があることから、お天道様(おてんとさま)に向かっていく虫＝テントウムシと名付けられました。

その他には、ゴキブリは残飯だけでなく椀までかじってしまうことから、御器(椀)を噛む＝御器噛り(ごきかぶり)が転じたものであり、ゴキブリへ変化した原因は誤記によるものであるとされています。ネズミは、“穴住み(棲み)”の音変化や“根住み(棲み)”など、住む場所を語源とする説が多いですが、その他にはネズミは夜行性であり、人間が寝ている間に食料を盗む生き物であることから、“ねぬすみ(寝盗み)”が転じて、ネズミになったと言われています。

その他、多くの動物や昆虫類の名前には、様々な由来があります。幼いころから知っている動物や昆虫類の名前の由来を調べてみると、知らなかった生態も知ることができるのではないのでしょうか。



総合衛生コンサルタント・生物害防除

東洋産業株式会社

URL: <http://www.to-yo-s.co.jp>

本社: 岡山県岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL(086)241-8080 FAX(086)241-8094

拠点: 大阪, 姫路, 岡山, 倉敷, 福山, 広島, 高松, 松山
関東(市川)